

# こころのお便り

杉並区立高井戸第四小学校

校長 細川 猛彦

指導教諭 早川 宏（たかし教室担任）

## 1. 「褒め方」いろいろ



◎教育関連の多くの専門家が「子供は褒めて育てましょう」と言います。褒められることにより、子供は意欲と自信が育っていきます。しかし、実際に子供を褒めようとしても、「どのように褒めたらよいかわからない」「褒めても全く効果がない」「そもそも褒めるところがない」などの声が多く聞かれます。褒め方にもいろいろあります。いくつかご紹介いたします。

あまり良くない点数のテストが返されてきた…

◎褒めるところがなく、「授業中、先生の話の聞いているの?」「もっと、ちゃんと勉強しなさい」「こんな簡単な問題を間違えて…」など、ついこのような小言を大人は言いがちですよね。期待をして成長を願うがために、つい子供のできていないところが目についてしまうのです。

◎学校で、良くない点数のテストが返されたときに、すでに子供は傷ついているのです。「できなかった」という経験が多くなると、「どうせダメだ」と意欲も下がってしまいます。

◎（言いたいことがいろいろあるかもしれませんが）大人は、子供のできているところ、頑張っているところを注目して、声かけしてあげましょう（多少演技もして）。例をあげます。

「こんな難しい勉強、やっているんだね。大変なんだね」

「テストって大変なのに、頑張って書いたんだね」

「この問題、結構難しいのに、できているじゃない!」

「筆算って、書くことがたくさんあるのに、ちゃんと丁寧に書いているんだね」

「あれ? なんか前より、字が上手になっているんじゃない?」



なかなか褒めるところが見つからなくて…

◎大人は、どうしても子供のできていないところが目についてしまいます。そして、良い結果を求めてしまいます。そうすると、やはり褒めるところが見つからなくなってしまいます。

◎発想の転換が必要でしょう。まず、結果ではなく、途中の経過（過程）や、今やっていることを言葉にしてあげたりすると良いでしょう。

「あっ、宿題始めたね」「頑張っているね」「〇〇をやっているんだね」

「楽しそうだね」「大変そうだね」「一生懸命やっているね」

「そうじてくれているの。ありがとう」 ※そうじがまだ終わってなくても（裏面へ）

◎子供にとって、「自分を見ていてくれる」「認められている」と感じることで、褒められたときと同じような気持ちになります。大人が結果だけにこだわり、結果主義や成果主義になると、苦手なものが多かったり、自信を失いやすかったりする子供は、ますます気持ちが落ち込みやすくなります。結果ではなく、途中のプロセスを評価してもらうことにより、「やってみよう」「頑張ってみよう」とする意欲やエネルギーにつながりやすくなります。

子供が自ら進んで宿題の漢字や計算のドリルをやっている…



◎ここは、ぜひとも褒めるところですね。でも、漢字の書き順が違う、文字や数字も乱雑だ、座っている姿勢が良くない、大人はどうしても「できていないところ」に注目しがちです。

**「自分からドリルを始めて頑張っているね。でも、書き順が違うよ。そこ直しなさい」**

などと言うと、せっかく褒めているのにもう台無しです。「褒められた」と感じられなくなります。褒めるときは、褒めることだけに留めるべきです。(いろいろと思いはあるでしょうけど…)

以上、褒めることについて、いくつか例をあげてみました。この他にもあります。

◎「感動的に」「大げさに」に褒めることはしない。

→ 子供にとって、かえってプレッシャーになる。これから全てのことを完璧に頑張らなければいけないと追い詰められてしまう。また、わざとらしく聞こえることもあります。年齢が進むほど、「さりげない」言葉かけのほうが好まれます。高学年の子供には、「OKサイン」を出す程度でもよいでしょう。

◎たかし教室では、普段から保護者や担任の先生と交換している連絡帳の「学級担任から」の欄に書かれてある担任の先生の褒め言葉を子供に読んでもらうことがあります。「〇〇先生が褒めていたよ」と間接的に伝わることも効果的です。

## 2. そして、大人のほうも…

◎人が誰かを褒める時は、自分自身が自己肯定感をもち、自分を大切にし、困難も何とか乗り越えていこうとする前向きな気持ちをもっていることが必要です。そうでなければ人を褒めることはなかなかできません。そのためにも、大人自身も誰かに褒めてもらうことが必要です。

◎最近、感染症対策の取り組みや対応で、大人がお互いに批判し合う場面が見られます。このようにときだからこそ、大人たちがお互いを讃え合い、助け合い、認め合うことが大切です。そのことが、子供たちを褒めていくことにつながります。私たち大人もお互いを尊重し合いましょ！

